

製品名: NUT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14992**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	NUT C15orf55
別名	Protein NUT (Nuclear protein in testis)
遺伝子 ID	256646.0
SwissProt ID	Q86Y26
免疫原	ヒト NUT 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1082-1131

背景

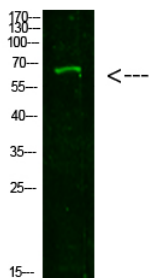
疾患: 若年者の正中線臓器に発生する、まれで悪性度が高く致死的な癌において、NUTに関連する染色体異常が認められる。BRD4 との転座 t(15;19)(q14;p13)は BRD4-NUT 融合タンパク質を生成する。疾患: 若年者の正中線臓器に発生する、まれで悪性度が高く

致死的な癌において、NUTに関連する染色体異常が認められる。BRD3との転座 t(15;9)(q14;q34)により、BRD3-NUT 融合タンパク質が生成されます。PTM:Ser-1026、Ser-1029、または Ser-1031 のリン酸化は、細胞質への輸送に重要です。類似性:FAM22 ファミリーに属します。細胞内局在:核と細胞質の間をシャトルします。組織特異性:精巣で特異的に発現します。疾患:若年者の正中線臓器に発生するまれで悪性度が高く致死的な癌に、NUTに関連する染色体異常が見つかります。BRD4との転座 t(15;19)(q14;p13)により、BRD4-NUT 融合タンパク質が生成されます。疾患:若年者の正中線臓器に発生するまれで悪性度が高く致死的な癌に、NUTに関連する染色体異常が見つかります。BRD3との転座 t(15;9)(q14;q34)により、BRD3-NUT 融合タンパク質が産生される。PTM:Ser-1026、Ser-1029、または Ser-1031 のリン酸化は細胞質輸送に重要である。類似性:FAM22 ファミリーに属する。細胞内局在:核と細胞質の間を往復する。組織特異性:精巣で特異的に発現する。

研究分野

がん; 腫瘍タンパク質/抑制因子; 腫瘍タンパク質

画像データ



293T細胞のウェスタンブロット解析 (NUT ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈、4°Cで一晩)。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 に希釈、25°C、1時間)